

<b>Title</b>	目次
<b>Author(s)</b>	聖学院大学総合研究所
<b>Citation</b>	聖学院大学総合研究所紀要, No.49, 2011.1 : 7-10
<b>URL</b>	<a href="http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=2952">http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=2952</a>
<b>Rights</b>	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository for academic archiVE

巻頭言 日本を真に元気にする施策とは

——大器晩成時代を迎えて——

阿久戸 光晴 3

I

アメリカ憲法における表現の自由の歴史的展開

——厳格審査基準の先駆者としてのフランクファータータ裁判官

毛利 透 13

ドイツ憲法学から日本憲法学への影響

——人格説と進化論の機能

國分典子 38

II

徳富蘇峰と平民主義

和田守 67

ラインホルド・ニーバーと宗教多元性

——現代においてキリスト教の絶対性をどう理解するか

西谷幸介 97

III

一九〇〇年前後のアドルフ・フォン・ハルナックとマックス・ヴェーバー

深井智朗 131

祈り・志・霊性

——植村正久の理解をめぐって

松本周 160

人々の関係を結びつける失われた鎖

——一九世紀英国の女性社会改良家の活動を手がかりに——

木村 美里

175

「……私たちが長い間会えないことを大変寂しく思っています」

——エーリヒ・フロム、パウル・ティリツヒ往復書簡

及び関連書簡の解説と翻訳

竹 淵 香 織 ・ 深 井 智 朗

195

主権とEUの問題

オリヴァイエ・カミイ

徳永貴志 訳

237

IV

La Font de Saint-Yenne: sa vie et son oeuvre (1688-1771)

Kei TANAKA

11

正義と法実務・序説

笹倉秀夫

27